



学校だより

薰る双葉

~いつの日か 花になれ~

令和7年11月6日

第8号



2学期も折り返しを過ぎました。様々な学校行事に目的をもって取り組むことで、協力することや時間を守って行動すること、役割を果たすことなど、集団で活動する中での学びをたくさん得ることができました。保護者も皆様には、ご理解ご協力をいただきまして、ありがとうございました。

11月の生活目標 ~読書をしよう~

読書の秋です。今年の重点に「たくさん本を読もう」がありますが、11月は、特に力を入れて取り組んでいきます。「読書bingo」や「読書カード」をクリアして、シールをもらいにくる子がたくさんいます。全員1回は校長室に来てくれることを期待しています。また、親子読書の取り組みを今週末に予定しています。ご協力よろしくお願ひします。デジタル全盛の世の中ですが、思考力を鍛え、想像力を育むためには紙媒体が有効です。子供たちの知識や心を豊かにするために読書活動を進めていきます。なお、図書室だよりもお知らせしましたが、新生こども会様から本を寄贈していただきました。今後、図書室に配架し、子供たちに貸し出していく予定です。

かおるふたばの 「お互いに協力し合おう」

6年生が参加した市内音楽会、5・6年生の代表が参加した市体育大会。どちらでも子供たちのまとまり「協力」が具体的な姿になって発揮されました。周りの声を聴きながら重ねたハーモニー、応援の声にパワーをもらって力を全て発揮できた駅伝、係として運営を支えたことなど、素晴らしいかったです。「皆で心を合わせて取り組めば成し遂げられる」そんな実感がありました。

津波対応避難訓練実施

昨日(11/5)は津波防災の日でした。本市では、この日に合わせて、全小学校で避難訓練を行っています。

津波対応は、「早く、高い場所へ」が原則です。本校は、①校舎3階 ②三中(校舎を超える津波予測かつ到達までに時間が確保される場合)の避難対応をします。

今回の訓練では、『地震発生→一次避難(机の下)→グラウンドへ二次避難→<大津波警報発令想定>→三中へ三次避難』の順で行いました。

また、訓練実施までには、銚子に縁のある濱口梧陵の「稻むらの火(大地震の際に高台の稲わらに火をつけて村人を集め、津波から守った実話)」について各クラスでふれました。因みに、この行為に感動したラフカディオ・ハーン(小泉八雲)は、「仏の畠の中の落穂拾い」という短編集の中で、「A Living God(生ける神)」として梧陵を紹介しています。そして、今は、5年生が使っている道徳の教科書にも取り上げられています。